

ひこざ便 No.71

2025・3月特定非営利活動法人無料塾ひこざ

悲しい出来事。日本でも世界でも。

昨年1月1日、能登半島地震がありました。その後、豪雨にみまわれ、今また大雪の連続です。いまだに多くの方が仮設で暮らしています。ましてや家族を失った人は辛い思いをしているでしょう。世界をみるとパレスチナ、ウクライナの戦争で街の建物が破壊され、小さな子どもまでが負傷して血を流している映像が放送されています。アフリカからヨーロッパへ、南米からアメリカへ、自分の国を捨て集団で難民となって移動している人もいます。私たちは本当につらい気持ちになってしまいます。しかし、問題を避けることなく見つめるとともに、正義・理性の力によって解決されることに確信を持ちたいものです。

日本でも、2万人余の人が自殺し、痛ましいのは小中高生でも500人余りの自殺者がいるとのニュースです。文部科学省は、小中高生で23年度年間30日以上登校しない不登校生が41万5,252人と発表しました。フリースクール、多様性学校などの施策がおこなわれていますが、その費用が高いため7割の小中高生がひきこもりの状態になっています。感受性に富んだ若い人が自分の世界にこもってしまうのは理解できますが社会に繋がりができるように激励したいと思います。

「無料塾ひこざ」では月に一度、スタッフと大学生による事務局会議を開きます。「ひこざらす。」から塾生の学習の様子を報告してもらい、学習態度のこと、家庭環境のこと、レクリエーションによる親睦のことなど大学生とスタッフで話し合います。

新しい学年に進むに当たり「ひこざ便」にスタッフの激励の言葉がありますのでHPにて「ひこざ便No67, No70の「みんなのひろば」よりご覧ください。

理事 石川 巖

お知らせ

- 5月末までの大学生の時間割りが決定するまでは、学習の担当決めができないのでグループ学習の場合があります。
- 3月20日 令和6年度 卒塾式を行いました。
- ひこざのメールアドレスとホームページは変更になりました。メールは従来のアドレスも使用可能ですが徐々に移行してまいります。
- ひこざは祝日休塾です。
4月29日(火)・5月6日(火)は祝日の為休塾となります。
- 「子ども応援まちフェス桜」3/27～4/6 開催です。ひこざ会場では「そろばんづくり」があります。

ひこざライン

「卒塾おめでとうございます！」

3月20日に卒塾式が行われました。たくさんの塾生、スタッフさん、大学生が参加し、とても素敵な1日になったのではないかと思います。今回のひこざラインでは、卒塾式に参加した大学生から感想をいただいたのでご紹介させていただきます。

○ひこざらす会長 新4年生 小原さん

先で行われた卒塾式では、久しぶりにひこざに顔を出してくれた先輩方も多く、とても嬉しかったです。卒塾式を通して、今のひこざがあるのは当たり前ではなく、支えてくれているたくさんの方々や、これまでひこざという場所を守ってくれた歴代の先輩方、スタッフの皆さんのおかげであるということを実感しました。レクでは特に、イラスト伝言ゲームが印象に残っています。チーム対抗で、チームで協力してひとつの絵を完成させるのがとても面白かったです。みんな自然と笑顔がこぼれていました。卒業してそれぞれの進路に進まれると思いますが、ひこざで一緒に過ごした日々を思い出して、自分らしく歩いていってください！

○新3年生 岩本さん

今回卒塾した塾生と大学生の皆さんは、私が参加した当初からあたたかく迎えてくれたため、感謝の気持ちを込め最後に素敵な思い出を作ることを目標にしました。お絵かき伝言ゲームは絵を口頭で伝えるゲームですが、ゲームを重ねるたびに試行錯誤しながらうまくっていく様子が印象的でした。また、完成した絵を最後に見比べて、答えの絵を見たときにわっと歓声が上がり、暖かい雰囲気が出るひこざがとても素敵だなと感じました。

○新2年生 坂本星翔さん

ひこざにおける人と人とのつながりの強さを改めて実感する機会となりました。久しぶりに再会した学生さんと仲睦まじく話す塾生の姿、レクで初対面の学生や異なる学年同士が自然と盛り上がる様子など、どの場面を切り取っても温かさに溢れていたように思います。また、スタッフの方々や地域の方々のお話からは、ひこざへの強い想いが伝わってきました。こうしたつながりのひとつひとつが積み重なり、ひこざのアットホームな良さを形作っているのだと思います。年齢や立場を超えてつながれる雰囲気こそがひこざの大きな魅力のひとつであると再確認できた貴重な式でした！

○新2年生 日野天満さん

ひこざに入って初めての卒塾式に参加しました。卒塾していく子どもたちとは新年度になるとひこざで会えなくなってしまうのがとても寂しいです。卒業した4年生の先輩方と卒塾式に関わる機会が多くあり、お話しすることができて楽しかったです。最初は緊張していましたが、途中から笑いあいの穏やかな暖かい雰囲気で進行していてひこざに関わっている人全員の温かさを感じました。レクやお菓子を食べながらお話しするなどずっと楽しい1日でした。



《イラスト作 成田 直矢》

みんなの広場



「学校の勉強はワンダフル！」のつづき

授業中に「こんなことを覚えて何になるんだ！」と腹を立てることも多いと思います。しかし、いつかどこかで役に立つかもしれないと期待をしてどんな教科でも前向きに取り組む気持ちが大切だと思います。

☆中学の勉強法のアドバイス☆

続いて、中学生のみなさんに5教科（英数国理社）の効率的な勉強法のアドバイスをします。学習の流れは授業で教科書を学ぶ→副教材の問題集で復習する→定期テストを受けとなります。こう考えると授業が大切だということが分かっていただけると思います。

もし学校の授業で分からないことがあれば、すぐにひこぎの先生に聞いてくださいね。

それから、副教材の問題集は知識を定着させるために徹底的に活用したいので、勉強方法を決めておきましょう。

副教材の問題集はどの科目もA（基本問題）、B（標準問題）、C（応用問題）の三つのレベルの問題が出てきます。

ですから、好きな教科ならCまでマスターするのを目標にすればいいし、苦手な教科ならBまで頑張ってマスターするのを目標にしましょう。

ひこぎの先生と相談して、ご自分の目標をしっかりと立てることをおすすめします。

勉強そのものに苦手意識が強くて5教科全部に手が回らないという方は、まずは自分にとって1番取り組みやすい教科で上記の勉強法をマスターしてください。

理科でこの勉強法が身に付いたら、次は別の教科でやり方を応用していく、そんなふうにして得意な教科を増やしていきましょう。

「あきらめないで粘り強く繰り返す」これが大事です。

最後になりますが、保護者様へ。

ひこぎにお子様をお預けいただき、誠にありがとうございます。

お子さまや受験のことで心配なことがありましたら、遠慮なくひこぎにお声がけください。

正会員 藤原 俊裕

ひこざは開塾10年になりました。

2015年2月4日にひこざは開塾しました。

ドキドキしながら立ち上げメンバー皆で塾生を待っていました。…開塾時は2名の塾生からはじまって、学生ボランティアもやはり1～2名でした。

コロナで休塾が続いたり、オンラインの学習をしたり…。いろいろなことがありますが、それでも毎年入塾希望があり必要とされる場であることを実感します。最近では地元の校長先生、行政の方など活動に関心をもってくださいる方の見学もあり地域の中で根が張ってきた思いがします。

子どもたちの声をききながら「ひこざらす。」と共に今までの10年を大切に、これからも活動を進めていきましょう。

どうぞ ご協力・ご支援おねがいいたします。

森本

一般社団法人 TRIGGER

「コープみらい×中央共同募金会」
子ども子育て支援事業～生活に困難がある子どもやその家族への支援活動を
応援！～の助成をうけています。

上記の皆様は令和6年度の活動をご支援いただいています。ありがとうございます。

編集後記

ついに3月になりましたね。この1年間で、子どもたちは交流会を始めとしたイベントや日々の様々な活動で大きく成長しました。

これから新しい学年に進む中で、期待と同時に不安もあるかと思います。ひこざ一同、子どもたちが自信を持ってスタートを切れるようにサポートしてまいります。

ひこざは来年度も、子どもたちにとって居心地のよい、楽しめる空間を作り続けてまいります。来年度も是非よろしくお願い致します。

無料塾「ひこざ」：〒338-0825 さいたま市桜区下大久保816（埼玉大学前）

Tel・fax：048-628-3932

（火・金の16:00～20:00のみ）

Mail：info@hikoza2014.com

HP：www.hikoza2014.com

ホームページQR



新ホームページ

